

		平成24年度実績	平成25年度計画	
健康増進課	【働く市民の健康づくりネットワーク会議】<1次予防><2次予防><3次予防> 働く市民の健康づくりを推進するため、職域保健・地域保健の関係機関等が連携し、メンタルヘルスの普及啓発を始めとした健康づくり活動の充実強化を図る。	・ 第1回会議 平成24年8月28日開催 ・ 働く市民のこころの健康づくりリーフレット作成	・ 第1回会議 平成25年7月24日開催 ・ 第2回会議 平成25年度末を予定	
	【メンタルヘルスの啓発】<1次予防> 自殺やうつ病の問題について啓発を行ない、心の健康づくりに関して市民や関係者の意識を高める。	・ 自殺予防街頭キャンペーン 平成25年3月16日(土) ・ ポケットティッシュ 配布 2,000個	・ 自殺予防街頭キャンペーン 平成26年3月15日(土) ・ 職場のこころの健康づくりセミナー 平成25年10月8日(火) ・ 働く市民のこころの健康づくりリーフレット配布	
	【無料法律相談とこころの健康相談会】<2次予防> 失業、倒産、多重債務問題に悩む市民を対象に、弁護士による法律相談に併せて、精神科医や臨床心理士等によるこころの相談を月に1回定期的に実施する。	・ 12回開催 相談件数173件(法律123件 こころ50件)	・ 12回開催予定	
	【仙台いのちの電話運営費補助】<2次予防> 「仙台いのちの電話」の事業のうち、相談員の研修費に係る経費の一部を補助する。	・ 補助金交付	・ 補助金交付	
	【自死遺族への支援】<3次予防> ・ 市内の自死遺族支援活動団体の広報を継続的に行い、必要な市民が参加できるようにする。 ・ 市内において自死遺族を支援する団体の活動を助成する。	・ 2団体へ補助金交付	・ 2団体へ補助金交付	
			平成25年度計画	平成24年度実績
	障害者支援課	【仙台市自殺対策連絡協議会】<1次予防><2次予防><3次予防> 関係機関が自殺の現状や自殺予防に関する情報を共有し、相互に連携して、自殺対策の推進を図る。	・ 平成24年9月10日開催	・ 平成25年9月中旬開催
【仙台市自殺総合対策庁内連絡会議】<1次予防><2次予防><3次予防> 庁内の関係部局による緊密な連携と情報の共有、また本市としての総合的な自殺対策の推進を図る。		・ 平成24年8月31日開催	・ 平成25年8月1日開催	
【メンタルヘルスの啓発】<1次予防> 自殺やうつ病の問題について啓発を行ない、心の健康づくりに関して市民や関係者の意識を高める。		・ 地下鉄車内マナーステッカー広告を利用した相談窓口の普及啓発(平成25年2月～) ・ 地下鉄ホーム等内照広告を利用した相談窓口の普及啓発(平成25年2月～) ・ 震災後のメンタルヘルスケアパンフレットの作成、配布:30,000部作成	・ 地下鉄車内マナーステッカー広告掲出継続 ・ 地下鉄ホーム等内照広告掲出継続 ・ パンフレットの配布(復興定期便に同封、戸別訪問時) ・ ジョイカード広告を利用した仙台市こころの健康づくりキャラクター「ここまる」及び相談窓口の普及啓発(平成25年9月、平成26年3月に実施)	
【精神障害者地域社会交流促進事業】<1次予防> 精神疾患・精神障害に対する正しい理解の普及やこれに基づく市民の適正な態度の醸成を促進する。		・ スピーカーズビューロー講演会開催 22回(延べ1313名聴講) ・ 普及啓発プログラム作成	・ スピーカーズビューロー講演会開催(年間20回を目処に開催)	
【かかりつけ医等心の健康対応力向上研修】<2次予防> うつ病患者が最初に診療することの多い一般内科医等のかかりつけ医に対して、うつ病等に関する専門的な養成研修を実施し、うつ病等の診断技術等の向上を図り、多くのうつ病等患者の早期発見、早期治療を行う。		・ 1回目:平成25年1月12日(土) 「災害後のメンタルヘルスについて」、「連携・実践」編 ・ 2回目:平成25年2月2日(土) 「総論知識」編、「診断・治療」編 研修参加延べ人数78名 修了証書交付者21名	2回コース ・ 1回目:平成25年11月2日(土) 「診断・治療」編、「対応」編、「連携・実践」編(予定) ・ 2回目:平成25年12月14日(土) 「総論知識」編、「連携・実践」編、シンポジウム(予定)	
		平成25年度計画	平成24年度実績	
		・ 平成25年11月2日(土) 「診断・治療」編、「対応」編、「連携・実践」編(予定) ・ 平成25年12月14日(土) 「総論知識」編、「連携・実践」編、シンポジウム(予定)		

	平成24年度実績	平成25年度計画
精神保健福祉 総合センター	【メンタルヘルスの啓発】<1次予防> 自殺やうつ病の問題について啓発を行ない、心の健康づくりに関して市民や関係者の意識を高める。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ころの健康づくりキャラクター作成 ・ ころの健康づくり啓発バッジの作成・送付 (各区保健福祉センター1,800個送付) ・ 自殺予防情報センターリーフレット作成・送付 (市内関係機関938カ所 概要版1,722部、電話相談周知用 6,050部送付) ・ 自殺予防週間 ポスター作成・送付(市内関係機関443カ所 500枚送付) ・ ストレスマネジメント、ゲートキーパーに関するパネル作成 ・ ゲートキーパー手帳送付、ほっと手帳送付(各区・各施設 10,000部送付) ・ ころの健康フェスティバル 186名参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自殺予防週間、自殺対策強化月間における周知活動の実施 ・ 自殺予防週間 ポスター作成・送付 ・ ころの健康づくり啓発バッジの作成・送付 ・ ころの健康フェスティバル開催
	【若年層向けの普及啓発事業】<1次予防> 主に10代後半～20歳代前半を対象とした効果的な啓発方法を検討し、若年層の自殺予防を図る。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 啓発媒体作成のための検討会の開催:2回 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 啓発媒体作成のための検討会の開催 ・ 啓発媒体の作成・配布
	【思春期問題研修講座】<1次予防> 思春期の事例に係わる職員が、思春期精神保健に関する基礎的かつ全般的な知識を学ぶ。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成24年12月25日開催(36名参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11月に開催予定
	【職場のメンタルヘルス支援事業】<1次予防> 事業所におけるメンタルヘルスに関する問題点を明確にして、事業所のメンタルヘルスケアが適切かつ有効に実施されるように支援する。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談件数13件 (内訳) 講師派遣 7件 電話相談(助言):3 電話相談(関係機関情報提供):2 来所相談(関係機関情報提供):1 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続して実施
	【経営者・管理職に対するメンタルヘルス研修会】<1次予防> 中小企業経営者や管理職に対してメンタルヘルス研修会を実施し、メンタルヘルスの意識向上を図り、従業員の健康管理に繋げる。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度の取組みに向けた打合せを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業家同友会の会報における普及啓発の実施 (掲載記事「職場のメンタルヘルス(4回シリーズ)」) ・ 研修会開催予定
	【震災後の生活困りごとと、ころの健康相談会】<2次予防> 司法書士による司法相談と併せて臨床心理士、精神保健福祉士、保健師によるころの健康相談を実施する。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定例相談(毎月1回実施) 開催回数12回、相談件数17件 ・ キャンペーン型の相談会 6日間開催 ・ 面接相談 44件(ころの相談 9件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定例相談(毎月1回開催) 12開催回予定 ・ キャンペーン型の相談会 6日間開催予定 ・ 市政だよりによる相談会の広報
	【ゲートキーパー養成講座】<2次予防> 窓口担当職員、自殺対策に関わる職員、民生委員等を対象に研修会を実施し相談支援体制の充実を図る。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市職員向け(9月24日 126名参加) ・ 自殺対策関係者向け(2月8日 85名参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市職員(一般職員対象)向け(7月12日 123名参加) ・ 地域自殺対策研修講座(専門職員対象ゲートキーパー講座)の実施 ・ 地域のキーパーソン向け研修の実施
	【司法書士メンタルヘルス研修】<2次予防> 司法書士に対して、精神疾患についての知識と精神疾患に罹っている相談者への対応を身につけてもらうために研修会を実施する。	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成25年3月14日実施(10名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続して実施(年1回開催予定) 	
【ころの絆センター相談電話】<2次予防> 希死念慮者、自殺未遂者、自死遺族等からの自殺問題に関する相談について電話で対応する。		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談件数 224件(H24年4月～平成25年3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続して実施(土・日曜、祝日、年末年始を除く9時～17時) 	
【精神保健福祉対策】<2次予防> ・ ころの相談。市民のころの不調やアルコール問題等の精神的な悩みについて、保健福祉センターや精神保健福祉総合センター等において精神科医、精神保健福祉相談員等がメンタルヘルス等に関する相談を実施。		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 来所相談(新規147件、再来延件数1,881件、訪問指導14件) ・ 電話相談(はあとライン 延2,509件、ナイトライン 延9,435件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来所相談 ・ 電話相談(はあとライン・ナイトライン) 	

		平成24年度実績	平成25年度計画
区保健福祉センター 総合支所	青葉区	<p>【メンタルヘルスの啓発】<1次予防> 自殺やうつ病の問題について啓発を行ない、心の健康づくりに関して市民や関係者の意識を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報コーナー 9月3日～14日「ストレスについて」 3月「ゲートキーパーって何？」パネル展示、1階ロビーにてゲートキーパーDVD放映 ・自殺予防週間、自殺対策強化月間における周知活動の実施 ・チラシ配付8種358枚 ・こころの健康づくり講演会 <ul style="list-style-type: none"> ①「ストレスとうまく付き合おう」原 敬造医師 73名参加 ②「うつ状態と回復に向けた関わり～もしも大切な人がうつになったら～」原 敬造医師 135名参加 講演会の案内を広報誌やホームページに掲載。周知及び啓発の機会とした ・地区健康教育:10回 343人 ・生活習慣病予防事業や介護予防事業等、他事業を活用した情報発信 ・介護予防自主グループ、中核支えあいセンターサロン 計7回 89名 ・宮城県理容美容生活衛生同業組合 自殺予防ゲートキーパー研修 計187名 ・専門学校へニュースレターの配布 計33ヶ所 132枚送付 ・被災者を対象としたこころの健康づくり ふるさと別交流会 計28回 延874名 出張！あおばけんこうづくり講座 計54回 延194名 ・チラシの配布 <ul style="list-style-type: none"> ①働きざかり世代への啓発 自殺対策予防リーフレット(2日間 計800名) ②その他 うつ予防、こころの相談のチラシの配布 被災者支援のサロン等で啓発、リーフレット配布(計 3ヶ所 100名) ・健康教育 みやぎ生協「こーぷくらしの助け合いの会」を対象 	<ul style="list-style-type: none"> ・9月「自殺予防週間」3月「自殺対策強化月間」パネル展示 ・1階ロビー 自殺予防ゲートキーパー DVD放映 ・生活習慣病予防事業や介護予防事業、被災者支援事業等を活用した情報発信 ・若い世代の健康づくり支援事業 教職員を対象とした研修会 ・各地区団体より健康教育依頼時対応 ・宮城県理容美容生活衛生同業組合 自殺予防ゲートキーパー研修 ・心の健康づくり講演会の開催 テーマ:自殺予防 H25.10月開催予定(エルパーク仙台、講師未定) 参加者(定員)100名 講演会の案内を広報誌はじめホームページ等に掲載予定。周知及び啓発の機会とする。 ・チラシの配布 <ul style="list-style-type: none"> ①働きざかり世代への啓発 自殺対策予防リーフレット ②その他 うつ予防、こころの相談のチラシの配布 被災者支援のサロン等で啓発、リーフレット配布
		<p>【精神保健福祉対策事業】<2次予防></p> <ul style="list-style-type: none"> ・こころの相談。市民のこころの不調やアルコール問題等の精神的な悩みについて、保健福祉センターや精神保健福祉総合センター等において精神科医、精神保健福祉相談員等がメンタルヘルス等に関する相談を実施。 ・統合失調症等の当事者を対象とし、創作活動等の活動を通して社会復帰を図る ・家族等を対象とし、病気や福祉制度等についての勉強や家族間の交流を図る ・地域住民等を対象とし、精神保健に関するボランティアを育成する ・訪問活動 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康相談(計52回 延べ134名) ・家族教室(計8回 延べ131名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康相談 60回予定 ・家族教室 8回予定 ・訪問指導(自死遺族、被災者、抑うつ高齢者等、随時訪問等で支援)
宮城総合支所		<p>【メンタルヘルスの啓発】<1次予防> 自殺やうつ病の問題について啓発を行ない、心の健康づくりに関して市民や関係者の意識を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉講演会の実施:平成25年3月開催 延べ23名参加 ・宮城地区まつりいきいき健康広場(相談窓口等掲示):自殺予防関連パネル等展示 ・自殺対策月間啓発パネル展示:総合支所一階フロアに掲示 ・ほっこりふれんどサロン(被災者支援サロン活動):年間11回開催、延べ136名参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉講演会の実施 ・宮城地区祭りいきいき健康広場(資料掲示及び配布) ・ほっこり健康教室(年5回)、ほっこりふれんどサロン(年6回) ・健康情報コーナー(自殺対策月間啓発パネル、資料等掲示) ・こころの健康づくり等関連啓発(窓口にてポケットティッシュ設置) ・地区健康教育等
		<p>【精神保健福祉対策事業】<2次予防></p> <ul style="list-style-type: none"> ・こころの相談。市民のこころの不調やアルコール問題等の精神的な悩みについて、保健福祉センターや精神保健福祉総合センター等において精神科医、精神保健福祉相談員等がメンタルヘルス等に関する相談を実施。 ・統合失調症等の当事者を対象とし、創作活動等の活動を通して社会復帰を図る ・家族等を対象とし、病気や福祉制度等についての勉強や家族間の交流を図る ・地域住民等を対象とし、精神保健に関するボランティアを育成する ・訪問活動 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康相談(年間12回実施、延べ28名) ・家族教室(年間6回実施、延べ27名) ・小集団活動(年間12回実施、延べ32名) ・訪問活動(総合相談 延べ 来所144名、電話318名、訪問244名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康相談(年間12回実施) ・家族教室(年間6回実施) ・小集団活動(年間12回実施) ・訪問活動の実施

		平成24年度実績	平成25年度計画
宮城野区	区保健福祉センター	<p>【メンタルヘルスの啓発】<1次予防> 自殺やうつ病の問題について啓発を行ない、心の健康づくりに関して市民や関係者の意識を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自殺予防週間、自殺対策強化月間での啓発(パネル・ポスター展示、リーフレット・啓発ティッシュ配布) ・ミニ講話の実施(プレハブ仮設、民賃サロン、健康生活講座) ・チラシ、パンフレット配布(区内理美容店、タクシー会社、JA支店、民賃居住被災者) ・市民センターまつりでの啓発(岩切・高砂) ・地域健康教育等での啓発 2回 90人 ・震災後こころのケアに関する講演会 <ul style="list-style-type: none"> ①高砂消防団対象:参加人数44名 ②高砂地区社協対象:参加人数95名 ③中野栄学区町内会対象:参加人数20名 ・自殺予防対策事業(理容・美容合同衛生消毒講習会において、ゲートキーパー要請研修会を実施:参加人数52名) ・健康教育 <ul style="list-style-type: none"> ①大志高校の生徒を対象にメンタルヘルス講話を実施(同じ内容を2回実施。参加合計人数:20名) ②みやぎ生協「こーぷくらしの助け合いの会」を対象にうつ病に関するメンタルヘルス研修を実施 ・応急仮設住宅訪問時、こころの健康チェックリスト入りティッシュと心のケアに関するリーフレットを配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺予防週間、自殺対策強化月間での啓発(パネル・ポスター展示、リーフレット・啓発ティッシュ配布) ・ミニ講話の実施(プレハブ仮設、民賃サロン、健康生活講座) ・チラシ、パンフレット配布(区内理美容店、タクシー会社、JA支店、民賃居住被災者) ・市民センターまつりでの啓発(岩切・高砂) ・地域健康教育等での啓発 ・区職員や関係機関職員向けに、うつ病の早期発見や対応方法についてのスキルアップ研修会 ・被災者心のケア支援事業(地区社協、消防団、地域支援者向け研修会) ・自殺予防週間において、うつ病に関する啓発のためのパネル展示 ・健康教育(大志高校の生徒を対象にしたメンタルヘルス研修会) ・応急仮設住宅訪問時、心のケアに関するリーフレット配布
		<p>【精神保健福祉対策事業】<2次予防> ・こころの相談。市民のこころの不調やアルコール問題等の精神的な悩みについて、保健福祉センターや精神保健福祉総合センター等において精神科医、精神保健福祉相談員等がメンタルヘルス等に関する相談を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合失調症等の当事者を対象とし、創作活動等の活動を通して社会復帰を図る ・家族等を対象とし、病気や福祉制度等についての勉強や家族間の交流を図る ・地域住民等を対象とし、精神保健に関するボランティアを育成する ・訪問活動 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康相談・震災ストレス相談:38回 相談件数73件 ・家族教室:12回、参加延べ人数:160名 ・小集団活動:22回、参加延べ人数:395名 ・訪問活動の実施(延べ数:1110件 内訳:総合相談 延べ訪問件数:604件、被災者 延べ訪問件数:506件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康相談:39回 ・家族教室:12回 ・小集団活動:22回 ・訪問活動の実施
		<p>【メンタルヘルスの啓発】<1次予防> 自殺やうつ病の問題について啓発を行ない、心の健康づくりに関して市民や関係者の意識を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心の健康づくり講演会・講習会 支援者向け 1回開催 「支援者のメンタルヘルスと、メンタル的な支援が必要な方への対応」参加人数:62名。 ・市民向け(健康づくり講話とタイアップ) 1回開催 「こころとからだを癒そう」参加人数:23名 ・民間賃貸住宅入居者向け 1回開催 「健康落語」参加人数:68名 ・自殺予防週間パネル展 場所:若林区役所1階ロビー 来所人数:477名(パンフレット等配付延べ数) ・応急仮設住宅入居者への訪問時に、こころの健康についてパンフレット配布による啓発 ・各地区サロン、民間借り上げ仮設住宅対象のサロン(ささえあいセンター主催)、介護予防自主グループ等集団の場における啓発 ・被災者健康診査(東北大学と共催)の事後指導や結果説明会における啓発 ・浸水地域や仮設住宅の訪問時にチェックリスト入りティッシュの配布 ・浸水地域への訪問時に心の健康チェックの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康づくり講演会・講習会 専門職員向け:保健福祉センター職員、関係職員を対象に、被災者のこころのケアに関する研修会を開催 ・民生委員向け:被災の大きかった地域の民生委員を対象に開催 ・消防団員向け:働き盛りのこころの健康づくりの内容を中心に開催。 ・被災者健康診査(東北大学と共催)の結果説明会などの場で各プレハブ仮設住宅においてこころの健康に関する健康教育を開催 ・健康づくりフェスティバルにおいて「こころの健康づくり」をテーマにしたコンサートや啓発ブースを設けてパネル展等を実施 ・自殺予防週間パネル展(9月)自殺対策強化月間におけるパネル展(3月) ・県被災者健康調査後の訪問支援、浸水地域居住の被災者健康調査実施に、こころの健康についてパンフレット配布による啓発 ・各地区サロン、民間借り上げ仮設住宅対象のサロン(ささえあいセンター主催)、介護予防自主グループ等集団の場における啓発 ・浸水地域や仮設住宅の訪問時にチェックリスト入りティッシュの配布 ・浸水地域への訪問時に心の健康チェックの実施
若林区	<p>【精神保健福祉対策事業】<2次予防> ・こころの相談。市民のこころの不調やアルコール問題等の精神的な悩みについて、保健福祉センターや精神保健福祉総合センター等において精神科医、精神保健福祉相談員等がメンタルヘルス等に関する相談を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合失調症等の当事者を対象とし、創作活動等の活動を通して社会復帰を図る ・家族等を対象とし、病気や福祉制度等についての勉強や家族間の交流を図る ・地域住民等を対象とし、精神保健に関するボランティアを育成する ・訪問活動 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康相談(34回、93件) ・家族教室(12回。実33人、延べ94人) ・小集団活動(24回、実26人、延べ154人) ・訪問活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康相談(48回) ・家族教室(12回) ・小集団活動(24回) ・訪問活動

		平成24年度実績	平成25年度計画	
太白区	【メンタルヘルスの啓発】<1次予防> 自殺やうつ病の問題について啓発を行ない、心の健康づくりに関して市民や関係者の意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 理美容所への取組み 組合加盟店(メンタルヘルス協力者)を通じた啓発用ティッシュの配布:800個 理美容衛生講習会でゲートキーパー研修の実施:2回 165名参加 組合加盟店20ヶ所を対象に利用客の心の健康に関する聞き取り調査を実施 大腸がん検診時啓発パンフレット入りティッシュ配布 自殺対策強化月間時区役所情報コーナーにてポスター・リーフレット掲示 社会学級にて健康教育の実施:14名参加 仮設住宅入居者へ心の健康に関する健康情報紙により啓発 あすと長町間説住宅健康相談会にてアルコールと心の健康についての講話:16名参加 被災者向け交流サロンにてパンフレットを配布し啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 理美容衛生講習会でゲートキーパー研修を実施 職域を対象とした健康教育の場での啓発 大腸がん検診時啓発パンフレット入りティッシュ配布 自殺予防週間・自殺対策強化月間時に自殺予防に関するパネル展示 リーフレットの配布 介護予防サポーターへの啓発 仮設住宅入居者への健康情報紙にて心の健康に関する内容を掲載し啓発 仮設住宅健康相談会での講話 被災者サロンでの講話・パンフレットの配布 	
		【精神保健福祉対策事業】<2次予防> ・こころの相談。市民のこころの不調やアルコール問題等の精神的な悩みについて、保健福祉センターや精神保健福祉総合センター等において精神科医、精神保健福祉相談員等がメンタルヘルス等に関する相談を実施。 ・統合失調症等の当事者を対象とし、創作活動等の活動を通して社会復帰を図る ・家族等を対象とし、病気や福祉制度等についての勉強や家族間の交流を図る ・地域住民等を対象とし、精神保健に関するボランティアを育成する ・訪問活動		
		<ul style="list-style-type: none"> こころの健康相談:115件 家族教室:15回 小集団活動:121名 訪問活動:502件 	<ul style="list-style-type: none"> こころの健康相談 家族教室 小集団活動 訪問活動 	
	区保健福祉センター 総合支所	【メンタルヘルスの啓発】<1次予防> 自殺やうつ病の問題について啓発を行ない、心の健康づくりに関して市民や関係者の意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 健康のつどい 120人 精神保健福祉研修会 12人 	<ul style="list-style-type: none"> 健康のつどい:実施予定(時期未定) 精神保健福祉研修会:1回実施予定
			【精神保健福祉対策事業】<2次予防> ・こころの相談。市民のこころの不調やアルコール問題等の精神的な悩みについて、保健福祉センターや精神保健福祉総合センター等において精神科医、精神保健福祉相談員等がメンタルヘルス等に関する相談を実施。 ・統合失調症等の当事者を対象とし、創作活動等の活動を通して社会復帰を図る ・家族等を対象とし、病気や福祉制度等についての勉強や家族間の交流を図る ・地域住民等を対象とし、精神保健に関するボランティアを育成する ・訪問活動	
			<ul style="list-style-type: none"> こころの健康相談:1回 小集団活動:延17名 	<ul style="list-style-type: none"> こころの健康相談:随時 小集団活動:年3回予定
泉区	【メンタルヘルスの啓発】<1次予防> 自殺やうつ病の問題について啓発を行ない、心の健康づくりに関して市民や関係者の意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> こころの健康づくり講演会 1回、70名 浸水地域被災者対象集い 11回、実33名 延135名 NTT仮設住宅入居者対象集い 4回、実12名 延22名 南光台地域被災者支援事業 4回、実25名 延40名 いずみゆうゆうタイム 5回、72名 仮設住宅訪問時啓発パンフレット入りティッシュ配布 情報コーナーへのパネル展示、資料配布 市政だより(泉区版)にゲートキーパー記事掲載による区民への周知 地下鉄連絡通路及びエスカルゴ広場へのポスター掲示 商工会会報に心のケアについての記事掲載 支えあいセンター定期便にて被災者に心のケア関連情報の提供 職員向けゲートキーパー研修 家庭健康課 3回、39人 障害高齢課 3回、25人 みなし仮設居住者の健康状態把握及び訪問等による継続支援 759件(358世帯) 	<ul style="list-style-type: none"> こころの健康づくり事業 浸水地域被災者対象集い 11回予定 NTT仮設住宅入居者対象集い いずみゆうゆうタイム 6回+α 仮設住宅訪問時啓発パンフレット入りティッシュ配布 情報コーナーへのパネル展示、資料配布 市政だより(泉区版)にゲートキーパー記事掲載による区民への周知 地下鉄連絡通路及びエスカルゴ広場へのポスター掲示 商工会会報に心のケアについての記事掲載 支えあいセンター定期便にて被災者に心のケア関連情報の提供 復興公営住宅整備後の心のケアと地域の見守り体制の構築のための取組み 子育て支援者交流会等で若い世代への周知 理美容師を対象とした「ゲートキーパー研修」の実施(年1回) 職員向けゲートキーパー研修 家庭健康課、障害高齢課共催 2回、30人 みなし仮設居住者の健康状態把握及び訪問等による継続支 	
		【精神保健福祉対策事業】<2次予防> ・こころの相談。市民のこころの不調やアルコール問題等の精神的な悩みについて、保健福祉センターや精神保健福祉総合センター等において精神科医、精神保健福祉相談員等がメンタルヘルス等に関する相談を実施。 ・統合失調症等の当事者を対象とし、創作活動等の活動を通して社会復帰を図る ・家族等を対象とし、病気や福祉制度等についての勉強や家族間の交流を図る ・地域住民等を対象とし、精神保健に関するボランティアを育成する ・訪問活動		
		<ul style="list-style-type: none"> こころの健康相談(年33回実施) 家族教室(年10回実施) 訪問活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> こころの健康相談の実施 家族教室の実施 訪問活動の実施 	

	平成24年度実績	平成25年度計画
介護予防 推進室	【抑うつ高齢者地域ケア事業(普及啓発プログラム)】<1次予防> 「自殺」や「うつ病」の問題について、地域の人々の意識を高め、偏見を解消し、うつ病の早期発見と早期対応、予防とセルフケアについての知識を普及する。	
	・ 地域包括支援センターが実施している介護予防教室でうつをテーマにとりあげた回数:49センターで47回(参加者のべ234人)	・ 継続して実施
	【抑うつ高齢者地域ケア事業(訪問指導等)】…地域包括支援センターと連携<2次予防> うつ状態にあり、社会的に孤立している高齢者に、精神保健福祉に関する専門職が定期的に訪問し、個別的な心理社会的ケアを実践する。	
	・ 震災以外 実人員 25人, 延 119 人	・ 継続して実施
	平成24年度実績	平成25年度計画
健康教育課	【仙台市学校保健会研修会】<1次予防> 校医, 養護教諭, 学校管理者等が連携しながら研修会を開催し児童生徒の保健に関する普及啓発を推進することにより, 学校保健の向上を図る。	
	・ 精神科医による「震災後の子どもの心のケアについて」講演(学校保健関係者150名参加) ・ 健康教育指導者養成研修会伝達研修会「児童生徒のメンタルヘルスへの理解と対応」(平成25年2月27日開催 養護教諭165名参加)	・ 健康教育指導者養成研修会伝達研修会「児童生徒のメンタルヘルスへの理解と対応」(平成26年2月開催予定)
	【養護教諭の職務に関する研修会】<1次予防> 養護教諭として職務を遂行するために必要な専門的・実践的な研修を行い, 学校保健の推進者として必要な資質・能力の向上を図る。	
	—	・ 「保健室における健康相談」平成25年7月25日開催 70名参加
	平成24年度実績	平成25年度計画
子育て支援課	【産後うつ等の早期発見】<2次予防> 乳幼児虐待の要因のひとつである産後うつ病の早期発見のため新生児訪問時にエジンバラ産後うつ病質問票によるスクリーニングを実施している。	
	・ EPDS(エジンバラ産後うつ病質問票)実施数(実) 8,893人 9点以上のハイリスク者 8.01%	・ 継続して実施
	平成24年度実績	平成25年度計画
消費生活 センター	【多重債務特別相談】<2次予防> 借金・多重債務問題の相談に弁護士, 司法書士が無料で応じる(予約制)	
	・ 弁護士 6日間 計48件 ・ 司法書士 1日間 計19件	・ 弁護士による多重債務特別相談(無料) 年に6日間(2日×3回) ・ 司法書士による無料法律相談 毎月1回
	【多重債務庁内窓口職員対象研修会】<2次予防> 多重債務に陥っている市民を発見する可能性が高い窓口職員等の知識の向上を図り, 確実に消費生活センター等の相談窓口につなげることができることを目的として, 職員向け研修を実施している	
	・ 1回開催(平成25年1月31日「債務整理の具体的な方法について」 講師: 弁護士)	・ 25年度も開催予定(1回)
	平成24年度実績	平成25年度計画
児童相談所	【震災孤児を養育する里親向けの里親サロン】<1次予防> 一般の里親向けのサロンに加えて, 東日本大震災により孤児となった要保護児童を養育(当児童相談所からの委託措置による養育)する里親(以下「震災里親」という)を対象に, その養育が一定安定するまでの間, サロンを開催し交流や情報交換を促進することにより, 当該里親の養育を支援する	
	・ 対象者8組 開催回数: 2回 参加者数: 1回目・4組, 2回目: 0組	・ 必要に応じ震災里親向けサロンを開催する